

事業概要【中小企業DX支援事業】（新しい地方経済・生活環境創生交付金）

申請者	神奈川県川崎市	採択回	令和5年度第1回募集									
事業計画期間	R5-R7年度	交付対象事業費	49,124千円（交付金24,562千円）※令和7年度事業費									
事業タイプ	地方創生推進タイプ（横展開型）	事業分野	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野									
目的（効果）	市内中小事業者のデジタル化を進めるとともに、デジタル人材の育成等による中長期的な事業者のデジタル化を継続させていくことで、全市的なデジタルトランスフォーメーションを創発させ、産業振興及び地方創生に繋げる。											
事業概要・主な経費	<p>①デジタル化基盤強化事業（補助金 13,535千円） 多様な業種の市内中小事業者のデジタル化推進にあたり、デジタル技術や設備の導入、人材育成などを支援。</p> <p>②DXモデル創出事業（委託料 16,560千円） デジタル化の基盤が一定構築された市内中小企業をDXモデルとして引き上げることで、DXの有効な事例を創出。</p> <p>③DXプラットフォーム構築・運営事業（委託料 19,029千円） 支援機関・金融機関・業界団体等と連携し、市内中小事業者のデジタル化を推進する事業主体を構築・運営。 ※令和7年度の内容を記載</p>	<p>令和7年度川崎市中企業DXモデル支援事業 採択事業一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企業名</th> <th>本社所在地</th> <th>モデル事業名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式会社 Zrek</td> <td>幸区</td> <td>町工場特化型AIによる金属加工オートメーション</td> </tr> <tr> <td>株式会社 ゼンク</td> <td>幸区</td> <td>車両データを活用した需要予測AIシステムの開発</td> </tr> </tbody> </table>		企業名	本社所在地	モデル事業名称	株式会社 Zrek	幸区	町工場特化型AIによる金属加工オートメーション	株式会社 ゼンク	幸区	車両データを活用した需要予測AIシステムの開発
企業名	本社所在地	モデル事業名称										
株式会社 Zrek	幸区	町工場特化型AIによる金属加工オートメーション										
株式会社 ゼンク	幸区	車両データを活用した需要予測AIシステムの開発										
KPI	<p>①デジタル化に取り組んでいる市内中小事業者の割合 （令和7年度目標値+6.00%→実績+3.89%） ※目標 R5 39% R6 44% R7 50% 実績 R5 47.23% R6 45.09% R7 48.98%</p> <p>②デジタル基盤強化支援数 （令和7年度目標値35件→実績31件）</p> <p>③DXモデルの創出数（令和7年度目標値3件→実績2件）</p>	関連URL	<p>（川崎市：新しい地方経済・生活環境創生交付金・実施状況） https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000159184.html</p>									




事業概要【一時保育事業オンライン予約システムの導入】（新しい地方経済・生活環境創生交付金）

申請者	神奈川県川崎市	採択回	令和7年度
事業計画期間	令和7年度	交付対象事業費	11,847千円 (交付金5,923千円)
事業タイプ	デジタル実装型 (TYPE 1)	事業分野	一時保育事業オンライン予約システムの導入事業
目的 (効果)	オンライン予約システムを導入することで、利用者が実施施設に電話等で問い合わせをして空き状況の確認や利用申請をする手間を省き、負担軽減と利便性の向上を図る。また、民間実施施設においては、市への報告書類の自動作成機能により、利用者からの問い合わせ対応や書類管理等の業務負担を軽減し、事務ミスを減らすとともに本来業務である保育に専念できるようになる。		
事業概要・主な経費	一時保育事業オンライン予約システムの導入 (11,847千円) ・システム設計・構築 ・施設向け研修 ・施設向けマニュアル作成 ・運用保守料		
KPI	①予約システムによる利用申請件数 (R7年度(1~3月)目標値6,000件 ⇒ 実績3,762件) ②施設情報・空き状況閲覧数 (R7年度(1~3月)目標値25,000回 ⇒ 実績32,329回) ③システムを利用した補助金申請数 (R7年度目標値 83件 ⇒ 実績 83件)	関連URL	(川崎市一時保育システム) https://kawasaki.hoiku.michi-shiru.jp/

事業概要【子育てアプリ（母子健康手帳アプリ）の充実・母子保健業務のDX化事業】 （新しい地方経済・生活環境創生交付金）

申請者	神奈川県川崎市	採択回	令和7年度
事業計画期間	令和7年度	交付対象事業費	34,668千円 (交付金17,333千円)
事業タイプ	デジタル実装型 TYPE1	事業分野	子育てアプリ（母子健康手帳アプリ）の充実・母子保健業務のDX化事業
目的（効果）	<p>国においては電子母子健康手帳の導入等による母子保健DXが推進されているが、本市においても子育てをより楽しく、安心して行うことができるよう環境整備が求められている。そこで、現在導入している「かわさき子育てアプリ」にイベント等の予約機能等を追加し機能拡充するとともに、乳幼児健診システムの導入等による母子保健業務のDX化を推進することにより、市民の利便性の向上や本市等の業務効率化の向上を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>子育てアプリ（母子健康手帳アプリ）の充実・母子保健業務のDX化事業（34,668千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新ソフトウェアのライセンス料 ・オンライン予約機能の新規導入 ・申請機能の新規導入 ・乳幼児健診システムの新規導入 		
KPI	<p>①子育てアプリの新規登録件数 (R7年度(2月～3月) 目標値2,700件 ⇒ 実績5,591件)</p> <p>②妊娠届の子育てアプリからの提出件数 (R7年度(2月～3月) 目標値 300件 ⇒ 実績1,650件)</p> <p>③集団健診における乳幼児健診システムの利用者数 (R7年度(3月) 目標値 20件 ⇒ 実績364件)</p>	関連URL	<p>「かわさき子育てアプリ すくすく」について https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000111813.html</p>

事業概要【建築関連情報等WEB公開及び窓口システムワンストップ化事業】 (新しい地方経済・生活環境創生交付金)

申請者	神奈川県川崎市	採択回	令和7年度
事業計画期間	令和7年度	交付対象事業費	161,846千円（交付金80,923千円）
事業タイプ	デジタル実装TYPE1	事業分野	建築関連情報等WEB公開及び窓口システムワンストップ化事業
目的（効果）	<p>建築計画概要書等の建築関連情報は市役所窓口で開庁時間中のみ閲覧可能となっており、多くの申請者が時間・場所の制約、窓口混雑の常態化等による負担を感じている。これらの課題を解消するため、公開型GISを活用した建築関連情報等WEB閲覧システムの構築や、有人対応を要する既存窓口システムの完全自動化等の事業を実施し、市民サービス・利便性の向上及び窓口の効率化を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>①WEB閲覧システム新規構築業務委託料（102,993千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開サイト構築 ・建築計画概要書、定期報告概要書、開発登録簿公開機能構築 ・台帳記載事項証明書電子申請機能構築 <p>②窓口システム機能追加業務委託料（58,853千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全自動化機能追加 ・位置指定道路図面閲覧・証明交付機能追加 ・一団地認定縦覧機能追加 		   <p>川崎市 建築関連情報等WEB閲覧システム 利用開始</p> <p>WEB閲覧システム</p> <p>窓口システム</p>
KPI	<p>①WEB閲覧システムのログイン件数（R7目標値800件⇒実績873件）</p> <p>②WEB閲覧システムを利用して交付した台帳記載事項証明書の件数（R7目標値45件⇒実績8件）</p> <p>③窓口システムを利用して交付した位置指定道路証明書の件数（R7目標値75件⇒実績58件）</p> <p>④窓口で発券から1分以内にシステムを利用開始できた申請者の割合（R7目標値64%⇒実績54.8%）</p> <p>⑤窓口で申請から5分以内に書類交付を受けられた申請者の割合（R7目標値80%⇒実績99.0%）</p> <p>⑥サービス全体の利用者満足度（R7目標値100⇒実績100）</p> <p>※上記は、R7調査結果を100(基準)とする相対評価指標であり、満足度の割合ではありません</p>		<p>関連URL</p> <p>(インターネットでの建築計画概要書等の閲覧方法について) https://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000181736.html</p>

事業概要【避難所環境改善事業】（新しい地方経済・生活環境創生交付金）

申請者	神奈川県川崎市	採択回	令和7年度
事業計画期間	令和7年度	交付対象事業費	59,381千円 (交付金29,691千円)
事業タイプ	地域防災緊急整備型	事業分野	避難所環境改善事業
目的（効果）	全避難所に、避難所での健康被害の低減を図るため、要配慮者用として段ボールベッドを、また避難所における動線の視認性の改善や災害用マンホールトイレの設置場所での防犯・安全対策のため投光器を整備し、これらの備蓄物資を避難所開設訓練等で実際に使用することにより、市民の防災意識の向上を図るとともに、発災時において迅速に活用できる体制を構築し、地域防災力の一層の向上を目指す。		
事業概要・ 主な経費	<p>① 段ボールベッドの購入（8,162千円） 2,000台 ・174か所の各避難所10台ずつ配備（1,740台） ・残りの260台は備蓄倉庫に配備</p> <p>② 投光器の購入（51,219千円） 348台 ・174か所の各避難所2台ずつ配備（348台）</p>	 	<p>段ボールベッド</p> <p>投光器</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・各区の訓練で段ボールベッドを使用している割合 (R7年度目標値 25% ⇒実績 7%) ・避難所運営会議で段ボールベッドの優先使用の考え方や使用方法について周知を行った避難所の割合 (R7年度目標値 30% ⇒実績0.5%) <p>※入札不調等により納品が年度末となり、各区や避難所運営会議で実物を使用した訓練や周知を行う時間の確保が困難であったもの</p>	関連URL	<p>(川崎市 新しい地方経済・生活環境創生交付金・実施状況)</p> <p>https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000159184.html</p>